

令和7年第1回富谷市議会定例会

施 政 方 針

令和7年2月20日

富谷市長 若生 裕俊

～『住みたくなるまち日本一』を目指して～

1. はじめに

本日ここに、令和 7 年第 1 回富谷市議会定例会が開会されるにあたり、新年度・令和 7 年度に実施する各種施策の概要について、ご説明申し上げます。

議会の皆様には、日ごろより市勢発展のため、ご尽力いただいておりますことに、改めて感謝を申し上げます。

令和 7 年がスタートし、早くも 2 か月が経とうとしております。

新年度におきましても、本市を取り巻く社会経済情勢の変化にしっかりと対応できるよう、富谷市総合計画のもと、適時的確な政策判断により、「住みたくなるまち日本一 100 年間ひとが増え続けるまち」の実現を目指して、各種施策に取り組んでまいります。

議会の皆様には、市民の幸福と富谷市の発展のため、引き続き、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

はじめに、エネルギー・食料品価格等の物価高騰への市の取組について申し上げます。

依然として、食料品や燃料、生活用品など、ありとあらゆる物の価格が高騰し続けておりますので、市民の皆様へ一刻も早くご支援できればと思い、1 月に臨時議会を開かせていただき、補正予算をご承認いただきました。

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した「令和 6 年度住民税非課税世帯物価高騰対策支援事業」については、2 月 19 日に、対象 2,651 世帯に對して、給付金支給等のお知らせを発送したところです。引き続き、迅速な事務手続きに努め、3 月中の支給完了を目指して取り組んでまいります。

また、生活者支援及び地域経済の活性化を図ることを目的として販売する、割増商品券事業については、くろかわ商工会と業務委託契約を締結し、4 月から市民の皆様に市内郵便局で購入いただけるように、鋭意準備を進めております。

次に、平成 30 年度より整備を進めてまいりました市道穀田三ノ関線が、いよいよ 3 月に開通を迎える運びとなりました。3 月 15 日には、開通式を実施いたしますので、議員の皆様のご臨席を賜りますようお願い申し上げます。

開通後は、朝夕の渋滞緩和や富谷小学校及び富谷中学校の児童・生徒の安全安心な通学に大きく寄与するものと期待しているところです。

ここに改めまして、当事業を推進するにあたり、ご理解とご協力を賜った議会の皆様をはじめ、地権者等の関係各位に感謝を申し上げます。

それでは、新年度に実施する施策の概要について、ご説明を申し上げます。

はじめに、新年度当初予算の概要について申し上げます。

令和7年度は、第1次富谷市総合計画の最終年度であることを踏まえ、各施策の進捗状況や目標達成状況を検証しながら事業の選択と集中を進め、予算を編成したところです。

その結果、令和7年度一般会計当初予算案は、総額209億2,000万円、対前年度比23億3,100万円、12.5パーセント増と、6年連続で過去最高額を更新する規模となっております。

歳出の主な増加要因といたしましては、現在、順調に建設が進んでいる富谷市複合図書館の整備費をはじめ、図書館に配置する什器や書籍等の備品購入、各公民館図書室を図書館分館とするリノベーション事業のほか、県内でもいち早く1人1台で導入した小中学校児童生徒用タブレットの更新に加え、新富谷大橋の長寿命化やあけの平公民館屋根改修をはじめとする公共施設の維持修繕などが挙げられます。

また、黒川地域行政事務組合で整備が進められている新消防庁舎建設に伴う負担金や一般廃棄物処理関連経費の大幅な増加に加え、引き続き社会保障関連経費が増加しているほか、物価高騰や労務単価の上昇の影響により事業費全体が押し上げられております。

一方、歳入では、市民税や固定資産税の増加により、市税全体で67億7,700万円、対前年度比3億3,800万円の増を見込んでおります。

臨時財政対策債については、平成13年の制度創設以来、国において初めて新規発行額をゼロとしたことを踏まえ、全額普通交付税で見込むとともに、重点施策や物価高騰などに対応するための財源調整として、財政調整基金繰入金を6億1,300万円計上しての予算編成となっております。

なお、本市の特徴的な取組である2月補正予算と当初予算との連動では、3か年事業の2年目となる成田二期北工業用地造成を見据えたアクセス道路の整備や市道幹線道路の舗装修繕のほか、富谷市地球温暖化対策実行計画に掲げる省エネ化の推進を図るため、総合運動公園照明灯のLED化に取り組んでまいります。

さらに、令和 7 年度当初予算からの前倒しにより、日吉台三丁目会館の屋根改修や小中学校等の施設修繕の一部を 2 月補正予算に計上し、公共工事発注の平準化と事業効果の早期発現を図ってまいりますので、併せてご審議の程、よろしくお願ひいたします。

2. 「基本方針－1 暮らしを自慢できるまち」について

それでは、富谷市総合計画の 4 つの基本方針と後期基本計画の体系に基づき、各種施策の実施状況について申し上げます。

まず、「基本方針－1 暮らしを自慢できるまち」に関する主な施策について申し上げます。

（1）商工業・雇用関連施策について

はじめに、商工業・雇用関連施策について申し上げます。

企業誘致関連については、昨年 12 月 10 日に、日本特殊陶業株式会社の完全子会社である株式会社 NTK セラテックにおいて、高屋敷西地区に建設する新工場の地鎮祭が執り行われました。新工場では、半導体関連製品に用いられる静電チャックや構造用セラミックス製品が製造されることとなっており、令和 8 年度内の操業開始が予定されております。

新年度におきましても、宮城県や関係機関との連携のもと、成田二期北工業用地への企業誘致に取り組んでまいります。

（2）起業支援関連施策について

次に、起業支援関連施策について申し上げます。

起業塾「富谷塾」については現在 7 期目で、「富谷で想いを叶える」を年間のテーマに、233 名の塾生が対話を通しながら、起業創業に向けて、定例会や実践的なプログラムに取り組んでまいりました。

また、スタートアップ都市推進協議会主催のビジネスマッチングイベント「ジャパンスタートアップセレクション」などへの参加を通して、貴重な経験を得ております。

こうした取組を通して、今年度は 14 名が起業し、開塾してから起業した塾生の累計は 70 名を超える成果を生み出しております。

新年度には、第 8 期生を迎えることとなりますが、これまで培ったノウハウ

を生かしながら、充実した起業創業のプログラムを展開するとともに、塾生が想いを実現できるよう活動を支援し、起業創業・スタートアップの更なる強化についてまといります。

（3）農業関連施策について

次に農業関連施策について申し上げます。

米の受給安定に向けた宮城県における令和7年の生産の目安は、全国的な米の需要の高まりや民間在庫量の減少などから、平成30年の生産の目安の設定以来、初めて前年を上回る状況となっております。

本市の作付面積については、5割を若干超える見込みで前年より増加しておりますが、依然として農業経営は大変厳しい状況となっております。

このような状況を踏まえ、本市では、独自の上乗せ助成を継続し、新みやぎ農業協同組合や生産者と連携を図りながら、農業所得の向上と安定化に取り組むとともに、安全・安心な米づくりとブランド米となる環境保全米の作付拡大を推進してまいります。

新年度で9年目を迎える「とみやはちみつプロジェクト推進事業」については、これまで本市の緑豊かな自然環境の中での良質なはちみつ生産をはじめ、小学生の総合学習での出前講座や庁舎屋上の養蜂見学会の実施等による自然環境の教育などに取り組んできたところです。

今後は、新たに、小中学生の皆さんに、より身近に実感できる環境教育の実施や、食育の一環として、はちみつを学校給食の食材に提供するなど、プロジェクトを推進してまいります。

富谷茶については、新年度に1,000本の苗木の定植を行うとともに、後世へつなぐ貴重な食として登録した「味の箱船」の取組として、富谷茶の更なる周知・PRに努めてまいります。

また、発酵のまちづくり事業の一環として、地域商社と連携を図りながら、富谷茶を活用した発酵茶づくりを行い、商品化に取り組んでまいります。

農地の保全及び農業用施設の管理については、本市独自の支援事業となる農業環境整備事業補助金により、農地や農業用施設の整備及び補修等への支援を行うとともに、農業用水路の修繕工事を実施してまいります。

有害獣であるイノシシの対策については、新年度は大龜地区で、合計 1 キロメートルの物理柵の設置を進めるとともに、既に設置している物理柵の維持管理経費について、引き続き支援を行ってまいります。

また、捕獲対策については、新年度から鳥獣被害対策実施隊に 2 名が入隊することとなっており、総勢 17 名の体制で捕獲駆除等を強化しながら、農作物への被害防止に努めてまいります。

（4）観光・地域振興関連施策について

次に、観光・地域振興関連施策について申し上げます。

富谷宿観光交流ステーション・とみやどについては、昨年の 10 月に来場者数が累計 60 万人を超え、県内外から多くの皆様にご来場いただいております。テナントの発案から実施したファーマーズマーケットも徐々に規模が拡大し、とみやどの定例イベントとして定着いたしました。

新年度も指定管理者である株式会社 1038 や各テナントと連携しながら、趣向を凝らしたイベントなどを開催し、本市の観光交流の拠点として賑わいを創出してまいります。

発酵のまちづくりについては、10 月 11 日及び 12 日の両日に富谷中央公民館をメイン会場として、全国発酵食品サミットを開催いたします。10 月 12 日には、街道まつりも同時開催する計画しております。同サミットは、全国から多くの方が参加される一大イベントとなりますので、本市を PR する絶好の機会と捉え、交流人口、関係人口の拡大に向けて、取組を進めてまいります。

スイーツによるシティブランドの確立については、特産品であるブルーベリーなどを素材としたスイーツフェアを引き続き開催するとともに、生産者、スイーツ店等と連携を図りながら、ブランディング向上に取り組んでまいります。

また、現在建設を進めている富谷市複合図書館内に整備するスイーツステーションについては、新年度にカフェ運営事業者を選定するとともに、地域コミュニティと交流人口が生まれる魅力ある新たな拠点となるよう運営方法を検討してまいります。

（5）公共交通関連施策について

次に、公共交通関連施策について申し上げます。

本年度に策定を進めております「富谷市地域公共交通計画」については、市民や関係機関の皆様による富谷市地域公共交通活性化協議会においてご意見を伺い、素案がまとまったところです。現在、パブリックコメントを実施しており、3月上旬には、最終案を議会の皆様にお示しができるものと考えております。

この計画は、本市が目指す交通の将来像の実現に向けて、仙台市泉中央までの新たな軸となる基幹公共交通の整備や市民バス・デマンド型交通等の利便性向上などで構成しております。

泉中央までの基幹公共交通の整備については、これまで調査検討をしてまいりました地下鉄・BRTに加え、新たな手段として、都市型自走式ロープウェイの導入可能性調査を計画しております。

また、市民バスにおいては、スマートフォン等でバスの到着を把握することができるバス・ロケーションシステムを導入する計画としており、市民バスの利便性向上に取り組んでまいります。

（6）道路関連施策について

次に、道路関連施策について申し上げます。

仙台北部道路の「利府しらかし台インターチェンジ（IC）～富谷ジャンクション（JCT）」の4車線化については、NEXCO 東日本において、昨年12月より工事が着手されました。富谷 JCT のジャンクションフル化については、既に事業化が決定されておりますが、早期に整備されるよう、国やNEXCO 東日本へ、引き続き要望してまいります。

七北田西成田線をはじめとする市道幹線道路舗装修繕事業については、引き続き、国の交付金を活用しながら事業を推進してまいりますが、今回、国の補正予算により、交付金の内示を受けることができました。

つきましては、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしくお願いいたします。

橋梁維持管理事業については、引き続き、国の補助金を活用し、長寿命化修繕計画に基づく法定点検を実施するとともに、今年度に着手した新富谷大橋長寿命化修繕工事についても、継続して工事を実施してまいります。

次に、成田地区の新富谷アンダーパスについては、国の交付金を活用し、大雨等による冠水発生時に車両の誤進入を防止する対策に取り組んでまいります。

新年度においては、設計業務に着手し、一般車両や整備を進めている富谷市複合図書館への来館者等の通行の安全が図られるよう取り組んでまいります。

（7）土地利用関連施策について

次に、土地利用関連施策について申し上げます。

仙塩広域都市計画第8回定期見直しについては、成田二期北土地区画整理事業の令和7年度の事業着手に向け、令和7年5月の市街化区域編入を行うための手続きを進めてまいります。

また、土地区画整理事業地内へのアクセス道路となる都市計画道路七北田西成田線の延伸工事については、国の交付金を活用しながら、宮城県への委託により整備を進めており、令和7年度中に予定している土地区画整理事業の造成工事の着手に合わせ、工事の進捗を図ってまいります。

なお、今回、国の補正予算により、交付金の内示を受けることができました。

つきましては、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしくお願いいたします。

（8）住宅・公園・上下水道関連施策について

次に、住宅・公園・上下水道関連施策について申し上げます。

富谷市営墓地の第2期募集については、総数79件の申し込みがございました。

なお、現在までに整備が完了している空き区画については、引き続き、募集を行ってまいります。

大亀山森林公园については、新年度も引き続き、森の公園活性化実証事業に取り組み、魅力向上を図るとともに、更なる環境整備に取り組んでまいります。

水道事業については、本市上水道創設事業で設置された館山配水池が建設から44年経過したことに伴い、新年度より、設備の改築更新工事に着手するほか、施設の耐震診断を実施し、今後も水道施設の更なる耐震化を図りながら、市民生活に欠かすことができない水道水の安定供給に努めてまいります。

下水道事業については、新年度においても、国の交付金を活用し、マンホールポンプ施設の改築工事を行うなど、下水道施設の効率的な老朽化対策を推進し、

今後も衛生的な下水道サービスの安定提供に努めてまいります。

3. 「基本方針－2 教育と子育て環境を誇るまち」について

続きまして、「基本方針－2 教育と子育て環境を誇るまち」に関する主な施策について申し上げます。

（1）教育・青少年健全育成関連施策について

はじめに、教育・青少年健全育成関連施策について申し上げます。

本市の教育施策については、引き続き、第2期富谷市教育振興基本計画に基づき、総合的かつ計画的な推進体制を構築し、実効性の高い施策を推進してまいります。

1月7日に文部科学省の学校DX戦略アドバイザーを講師に迎え、市内小中学校すべての教職員を対象とした教育フォーラムを開催し、タブレット端末などの学校ICT環境の更新や「NEXT GIGA」の考え方などについての研修を行いました。本研修を契機として、教育ICT環境を最大限に生かした個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に更に取り組んでまいります。

第13回を迎えた図書館を使った調べる学習コンクールでは、1,634作品の中から優秀な25作品を全国審査へ出品し、12万3千を超える作品の中から、優良賞7作品、奨励賞7作品が選ばれるなど、素晴らしい結果となりました。さらには、富谷市及び富谷市教育委員会が地域コンクール実施団体として、最高賞となる総務大臣賞を受賞いたしました。

今後も引き続き、子どもの主体的かつ探究的な学習の充実を図るとともに、子どもにやさしいまちづくり実践自治体として、コンクール作品から得られる子どもたちの多様な意見や提案を各種施策に積極的に生かしてまいります。

次に、今般の物価高騰を踏まえ、学校給食摂取基準に準拠した学校給食を提供するため、学校給食費単価を小学校で300円から330円、中学校で360円から390円へ値上げすることといたしました。学校給食の完全無償化を継続しながら、食育の更なる推進と地域全体で子どもを守り育てていく風土の醸成に一層努めてまいります。

（2）生涯学習関連施策について

次に、生涯学習関連施策について申し上げます。

富谷市複合図書館「ユートミヤ」の整備については、令和7年度末の完成を目指して順調に工事が進捗しております。

今回、国の補正予算により、交付金の内示を受けることができましたことから、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしくお願ひいたします。

公民館の市民センター化については、説明会やパブリックコメントを行いながら、市民の皆様のご意見などを踏まえ、令和8年4月の運用開始に向け準備を進めてまいります。

なお、本定例会中の議員全員協議会において、改めてご説明申し上げますのでご理解の程、よろしくお願ひいたします。

（3）スポーツ・レクリエーション関連施策について

次に、スポーツ・レクリエーション関連施策について申し上げます。

昨年12月22日にカメイアリーナ仙台において、株式会社仙台89ERS（エイティナイナーズ）との「スポーツ交流活動等に関する協定」を締結いたしました。

本協定を機に、プロスポーツに触れる機会の創出やスポーツ文化の振興をはじめ、スポーツを通じた健康増進や青少年健全育成、地域の活性化を更に推進してまいります。

2月2日には、宮城県障害者スポーツ協会と連携して、パラスポーツ運動会 in 富谷を開催いたしました。障がいの枠を超えて、健常者も広く参加できるインクルーシブスポーツとして交流を深めたものです。

今後も障がい者のスポーツ活動への支援・交流の場づくりなど、パラスポーツの推進を通じて、活力ある共生社会の実現を推進してまいります。

3月15日に全世代向けの運動習慣と健康を育むランニング教室を開催することといたしました。多くの皆様にご参加いただけるよう、取り組んでまいります。

令和6年度富谷市スポーツ功労者表彰式については、3月22日に開催いたします。本市のスポーツ振興に著しく寄与した皆様及びスポーツで優秀な成績を収めた皆様に対し、これまでのご尽力とご功績を称え表彰いたします。

（4）芸術・文化関連施策について

次に、芸術・文化関連施策について申し上げます。

12月14日及び15日に、さいたまスーパーアリーナで開催された日本マーチングバンド協会主催の第52回マーチングバンド全国大会では、「音楽のまち マーチングのまち とみや」を代表し、一般の部でとみやマーチングエコース、小学生の部で富ヶ丘小学校と成田東小学校の金管バンドが出場し、いずれも銀賞（シルバー）を受賞いたしました。

また、1月26日に仙台サンプラザホールで開催された第28回マーチング＆バトンオステージ東北大会では、成田小学校が金賞を受賞いたしました。さらに、2月15日及び16日に神奈川県民ホールで開催された第23回マーチングステージ全国大会においても、見事金賞を受賞いたしました。

つきましては、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしくお願いいたします。

（5）子育て支援関連施策について

次に、子育て支援関連施策について申し上げます。

本市が重点施策に位置付け、積極的に取り組んできた「子どもにやさしいまちづくり」については、子育て世代から住みよいまちとして高く評価されるなど、まちの魅力の一つとなっております。

新年度は、すべてのこどもたちが、夢と希望を持って生活できるよう、多様な学びの保障や子育て環境の充実など、こども一人ひとりに寄り添うきめ細やかな支援を拡大し、次のステージへ飛躍させる取組を進めてまいります。その一環として、こどもたちをはじめ市民の皆様との意見交換を行いながら、こどもの権利に関する条例制定に向けて取り組んでまいります。

こども基本法に基づく「富谷市こども計画～とみやこどもにやさしいまちプラン～」の策定については、先の議員全員協議会においてご説明させていただきましたとおり、今後、最終案について富谷市子ども・子育て会議のご意見をいただき、新年度中の策定に向け、引き続き取り組んでまいります。

新年度からは、本計画に基づき、総合的かつ計画的に、こども・子育て支援施策を推進してまいります。

4月には、新たに児童福祉法第10条の2に定める「こども家庭センター」を設置し、その機能を子育て支援課及び子育て支援センター（とみここ）で連携・

協力して担うこととしております。

また、新たにセンター長及び統括支援員を配置することにより、母子保健と児童福祉の包括的かつ継続的な支援を、より一層強化してまいります。さらに、こども家庭センターでは、困難な課題を抱える女性への相談支援の充実にも取り組んでまいります。

なお、こども家庭センターの設置に関連して、本定例会に、とみや子育て支援センター条例の一部改正議案を提出しておりますので、ご審議の程、よろしくお願ひいたします。

新規事業といたしまして、ひとり親家庭や低所得子育て世帯等の支援の充実を図るため、子どもの学習・生活支援事業及び養育費確保支援事業を実施してまいります。

子どもの学習・生活支援事業については、子どもが安心して過ごせる居場所として、週1回、富谷中央公民館において学習指導を行うほか、日常生活や学校生活上の悩みについての相談や軽食を提供するなどの支援を行ってまいります。

養育費確保支援事業については、弁護士による法律相談を実施するほか、公正証書等作成や、保証会社との養育費保証契約保証料について助成を行い、ひとり親家庭等の生活の安定につながる支援を行ってまいります。

放課後健全育成事業については、東向陽台小学校放課後児童クラブの新築工事が予定どおり順調に進捗しており、3月22日に開所式を行い、4月1日から新たなクラブ棟で児童の受け入れを開始することとしております。

成田小学校放課後児童クラブについては、新年度に増築工事を行い、令和8年度から使用できるよう取り組んでまいります。

産後ケア事業については、利用される産婦の皆様がより一層、負担なく利用できるよう、自己負担額を軽減するとともに、利用回数を拡充して実施してまいります。

4. 「基本方針－3 元気と温かい心で支えるまち」について

続きまして、「基本方針－3 元気と温かい心で支えるまち」に関する主な施策について申し上げます。

（1）高齢者支援関連施策について

はじめに、高齢者支援関連施策について申し上げます。

「高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画」については、新年度において、次期計画策定の基礎資料とするため、実態把握調査を実施するとともに、計画の進捗管理と評価に取り組んでまいります。

高齢者補聴器購入費助成事業については、対象要件を拡大し、より多くの皆様にご活用いただくことで、社会参加の一助となるよう取り組んでまいります。

また、先日、議員の皆様にもご参加いただきました「認知症学びの講座」については、今年度も地域等での開催を重ね、累計4,904名の認知症サポーターに、地域での見守りを行っていただいております。

今後も地域全体が認知症を我がこととして捉え、見守り、支え合うことができるまちを目指し、施策を推進してまいります。

（2）健康・保健関連施策について

次に、健康・保健関連施策について申し上げます。

健康づくりの推進については、平成29年に策定した「富谷市健康推進計画」が本年3月に終了することに加え、国及び宮城県において、健康づくりの指針が新たに示されたことから、本市においても、4月からの施行に向け、次期健康推進計画の策定を進めております。

次期計画では、基本目標を「健康寿命の延伸」とし、生活習慣病の発症と重症化予防などの基本方針のもと、各種具体的な取組について明記しております。当該取組の一つとして、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業については、新年度より、圏域を拡大して実施するとともに、通いの場におけるフレイル予防の機会拡充などを通じて、生涯にわたって自分らしく過ごすことのできる社会の実現を目指してまいります。

（3）医療関連施策について

次に、医療関連施策について申し上げます。

総合病院誘致については、1月21日、県は東北労災病院を運営する労働者健康安全機構との基本合意に向けた協議を2025年度に持ち越す方針を明らかにしました。本市といたしましては、引き続き県と機構の協議を見守るとともに、県と連携を図りながら、病院誘致の実現に向けて取り組んでまいります。

（4）障がい者支援関連施策について

次に、障がい者支援関連施策について申し上げます。

新年度においては、次期計画となる「第8期障がい福祉計画」・「第4期障がい児福祉計画」策定の基礎資料となる実態把握調査を実施するとともに、現行計画の進捗管理と評価に取り組んでまいります。

また、新年度より、全国組織であります「医療的ケア児者を応援する市区町村長ネットワーク」に加入し、医療的ケア児者等の生活実態について理解を深め、先進的な取組を共有しながら、支援の強化を図るとともに、国に対しては、必要な支援策の充実を求めてまいります。

精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築の推進については、市民の皆様に向けた心の健康づくりの出前講座や心のサポーター養成研修の開催など、普及啓発になお一層努めてまいります。

（5）地域活動関連施策について

次に、地域活動関連施策について申し上げます。

民生委員児童委員については、本年が一斉改選の年となることから、適切な定員数を確保するため、候補者の推薦に当たっては行政区長の皆様のご協力をいただきながら円滑に進めてまいります。

5. 「基本方針－4 市民の思いを協働でつくるまち」について

続きまして、「基本方針－4 市民の思いを協働でつくるまち」に関する主な施策について申し上げます。

（1）防災・救急・消防関連施策について

はじめに、防災・救急・消防関連施策について申し上げます。

消防力強化の一環として、令和4年度から積み立てを行ってまいりました基金を活用しての消防ポンプ車整備については、改めて新年度予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしくお願ひいたします。

（2）防犯・交通安全・消費生活関連施策について

次に、防犯・交通安全・消費生活関連施策について申し上げます。

先の臨時議会において予算をご可決いただいた防犯用品の購入等に係る助成

事業については、今月から事業を開始しております。引き続き、市民の皆様の防犯意識の高揚と家庭における防犯対策の推進に努めてまいります。

また、平成 30 年度から継続して実施している各中学校区への防犯カメラの設置については、新年度においても、引き続き、各中学校区に 1 台ずつ計 5 台の増設を行い、より安全安心な地域づくりに取り組んでまいります。

宮城県及び関係自治体が主催する、令和 6 年度宮城県原子力防災訓練住民避難等訓練については、2 月 8 日に本市を会場とし、大和町、大郷町、大衡村の 4 市町村共同により、「女川地域の緊急時対応」にとりまとめられた避難計画に基づく手順の確認・検証を行いました。

この訓練は、放射性物質放出後の全面緊急事態を想定として、女川原子力発電所から概ね 5 キロメートルから 30 キロメートル圏内の UPZ (緊急防護措置を準備する区域) に居住する、石巻市あゆみ野地区住民の受け入れ訓練を実施したものです。

避難所受付ステーション訓練では、一連の受付手順を踏まえるとともに、避難所運営訓練においては、県の宮城県原子力防災アプリを利用した入場管理など、従事職員の対応要領について確認、実施いたしました。

今後も有事の際の対応について、県や他自治体と連携してまいります。

（3）人権尊重・男女共同関連施策について

次に、人権尊重・男女共同関連施策について申し上げます。

富谷市男女共同参画基本計画については、令和 7 年度で計画期間が満了することから、令和 8 年度を始期とする第 2 次富谷市男女共同参画基本計画の策定を進めてまいります。

（4）環境衛生関連施策について

次に、環境衛生関連施策について申し上げます。

本市清掃センターで行っている粗大ごみ処理については、仙台市へ更地での敷地返還に向け、新年度から仙台市葛岡工場に処理を委託することといたしました。

また、桜田最終処分場の廃止事業については、現在、実施設計業務を行っており、工事に要する経費が決まり次第、新年度補正予算での対応を検討しているところです。

（5）省エネルギー・再生可能エネルギー関連施策について

次に、省エネルギー・再生可能エネルギー関連施策について申し上げます。

新年度においては、市役所や公民館、小中学校の照明について LED 化に取り組んでまいります。

また、昨年の生徒会サミットで中学生より提案されたグリーンカーテンの取組を計画しております。学校をはじめ市公共施設にてグリーンカーテンを設置することにより、温度上昇の抑制と CO₂ 削減の効果が期待できますとともに、各家庭での実践や、市内事業所へのグリーンカーテンの普及・啓発へつなげてまいります。

平成 29 年度から実施してまいりました水素サプライチェーン実証事業については、今年度も環境省の外郭団体の補助事業を活用し実施してまいりましたが、間もなく完了を迎えます。今後は、これまでの実証事業の成果を生かしながら、水素エネルギーの普及・啓発について、引き続き取り組んでまいります。

（6）市民参加・協働関連施策について

次に、市民参加・協働関連施策について申し上げます。

「とみやわくわくミーティング」及び「とみやわくわく子どもミーティング」については、今後も市民の皆様と思いを共有しながら、多様な視点をまちづくりに生かせる貴重な機会として、引き続き開催してまいります。

市民協働の推進については、市民の公益的な活動への支援の充実を図るため、市民活動交流会を引き続き開催するとともに、新たに市民活動団体等を対象とした相談会も開催してまいります。

また、地域コミュニティの中核である町内会活動の活性化を支援するため、引き続き、富谷市町内会交流会を実施し、町内会が抱える課題の解決につなげられるような有益な情報を横展開してまいります。

町内会館の整備・維持管理については、経年劣化に伴う修繕が必要であることから、日吉台三丁目会館において屋根等の改修とスロープ工事に着手してまいります。

つきましては、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしくお願ひいたします。

（7）行財政経営関連施策について

次に、行財政経営関連施策について申し上げます。

行政改革については、第3次富谷市行政改革基本方針に基づき、職員の資質向上や行政のDX推進、情報発信力の向上、歳入確保の推進などに全庁で取り組み、健全な行財政運営に努めております。

今後も引き続き、事務事業の見直しによる歳出削減と歳入確保策の更なる推進に取り組んでまいります。

市税については、市民の皆様には、日頃より納税に対してご理解を賜り、改めて深く感謝申し上げます。引き続き、公平公正な課税と自主財源確保のため、収納率の維持向上と収入未済額の縮減に努めてまいります。

カスタマーハラスメント対策については、昨年6月から、その一環として職員の名札の表記を氏名から氏のみに変更するなど、職員が安心して働くよう職場環境の整備を進めてまいりました。職員が電話対応において長時間拘束され、業務に支障がでている事案など、様々なケースがあることから、新年度においても、職員研修の効果的な活用や顧問弁護士との連携等、継続的にカスタマーハラスメント対策につながる取組を進めてまいります。

国が進める地方公共団体情報システムの標準化については、予定通り令和7年度末までの移行を目指し取組を進めております。引き続き、府内デジタル化推進プロジェクト委員会を中心に各種業務の適切な移行を進めるとともに、国の動向を注視し、財政支援についても最大限確保できるよう努めてまいります。

3年目を迎えた広報戦略プロジェクトについては、ソーシャルメディアガイドラインや各種マニュアルを策定し、タブレット端末を各部に配布するなど、情報発信の環境整備に取り組んでまいりました。SNSにおける発信体制が整ったことから、今年度でプロジェクトを一つの区切りといたしますが、引き続き、職員の広報マインド醸成とスキル向上を図りながら、積極的な情報発信に取り組んでまいります。

最後に、令和 8 年度からスタートする第 2 次富谷市総合計画の策定にあたっては、昨年行った市民アンケートや多世代が参加するワークショップの開催を通して、市民の皆様より、富谷市の未来を描いた多数のご意見をいただき、基本構想案をまとめているところです。

3 月 5 日に、第 3 回目となる富谷市総合計画審議会を開催し、基本構想案をご審議いただくこととしております。

誰もが幸福で生き生きと暮らし、発展し続ける未来の富谷を創造しながら、市民や地域、企業など、多様なつながりによる「オールとみや」の体制で、「住みたくなるまち日本一 100 年間ひとが増え続けるまち」の実現を目指していく総合計画を策定してまいります。

以上で、令和 7 年富谷市議会第 1 回定例会開会にあたり、新年度の施策の大綱を申し上げ、挨拶とさせていただきます。